

1章 はじめに



ARI エー・アール・アイ
Amenity Research Institute

Copyright © 2002-2005 Amenity Research Institute Co., Ltd. All rights reserved.

1.はじめに

1.1 概要

本書は、『Mobile-Terminal Audio Analyzer』のコントロールソフトウェアMTA-02WB-S (以降、MTAと略記します)の操作方法について説明したものです。本ソフトウェアは3GPP (TS 26.131 V5.1.0 / TS 26.132 V5.2.0) およびGSM(03.50 version 4.6.1)、PDC(ITU-TP313)の音響特性試験に特化したWindowsアプリケーションで、簡易な操作で測定を行うことができ、測定結果の記録や記録されたグラフの印刷、テキストファイルへの出力などを行うことができます。


規格	概要
3GPP規格 (TS26.131 V5.1.0 / TS26.132 V5.2.0)	3GPP規格に準拠した音響特性の測定が行えます。 端末はNarrow-band/Wide-bandに対応しています。
GSM規格 (03.50 version4.6.1)	GSM規格に準拠した音響特性の測定に対応しています。
PDC(ITU-T P313)規格	ITU-T P.313規格に準拠した音響特性の測定が行えます。 この規格はコードレス電話、デジタル携帯電話向けの音響規格であり、PDC端末の音響性能評価に望ましい規格が揃っており、評価の仮基準としてお使いいただけます。

対応測定規格

1.2 本書の読み方


1.2.1 解説と注意事項の表記方法

本書では、各文章中で説明が必要と思われる用語や操作に関連する事項を文章とは別欄に、下図のようにトピック的に説明しています。特に操作に関連して注意が必要と思われる箇所には注意事項として表記します。



本書に記述されている用語説明やヒント事項がここに記載されます。

解説




操作などに関する注意事項等の説明がここに記載されます。


注意事項


解説と注意事項の表記方法

1.2.2 操作手順の表記方法

本書では、操作手順を説明する際に、下図のような表記方法を行います。説明する操作がマウスもしくはキーボードのどちらか(または両方を使用して)で行えるもの、マウスのみで行えるもの、キーボードのみで行えるもので、それぞれ表記されるマークが異なります。

- 

操作手順 1、マウスとキーボードに共通の操作の説明。
- 

操作手順 2、マウスのみ有効な操作の説明。
- 

操作手順 3、キーボードのみ有効な操作の説明。

操作手順の表記方法

1.2.3 各部名称の表記方法

本書では、メニュー項目やボタンイメージなど画面上で文字として表示される機能部位について、その文字を“<>”で括弧で表記します。

1.2.4 その他

本書では、MTAのウィンドウ全体を図として使用する場合、ウィンドウサイズは1024×768のサイズで行います。ウィンドウ上の一部分に焦点を当てて図として使用する場合は、状況に合わせて適切なサイズに拡大して使用します。画面の表示例は3GPP規格を例にご説明します。

1.3 動作環境

MTAを動作させるために必要な環境は下表のようになっています。

項目	分類	動作環境
コンピュータ本体	OS	Windows 2000 Windows XP
	処理能力	Pentium III 500MHz以上のCPUを推奨 メモリ128MByte以上を推奨
	外部インターフェイス	TCP/IPプロトコル ネットワークカード ネットワーク接続ケーブル CD-ROMドライブ(インストール時のみ) RS-232Cポート(測定器IPアドレス設定時のみ)
	ディスプレイアダプタ	1024×768 dot以上の出力画面解像度 16bit カラーモード以上の色表示能力
	補助記憶領域(ハードディスク)	14.0MByte(アプリケーション格納用) 他にデータ保管用として数MByteが必要
ディスプレイ	画面表示能力	1024×768 dot以上の画面解像度 16bit カラーモード以上の色表示能力



解説

印刷を行う場合は上記のほかにプリンタ及び、そのプリンタ用のドライバーソフトが必要です。インターフェイスアダプタ及びドライバーソフトのインストールなどについてはそれらのマニュアルを参照してください。